

(2) 自動販売機の設置等の考え方と実施内容

ア 考え方

利用者の利便性の向上をはかるなど、以下の考えのもと、自動販売機を設置します。

考え方	自動販売機の設置は、委託業務とします。
	ネーミングライツ企業の商品で統一します。
	災害避難場所、障がい者スポーツの拠点等考慮した自動販売機を設置します。
	公園の設置目的に合致しない自動販売機は設置しません。
	利用者の利便性の向上を図ります。

(イ) 実施内容

公園施設の設置目的、防災面、施設機能、利用者の利便性の向上を考慮し、園内全体に42台の自動販売機を設置するよう取り組みます。

種類	台数	種類	台数
飲料水（電子マネー対応含）	25台	アイスクリーム	2台
飲料水（ユニバーサル機）	11台	栄養補助食品	2台
新規 飲料水（災害支援型）	1台		
飲料水（オリンピック支援）	1台	合計	42台

●平成29年度に鳥取県第1号となるJOCオリンピック支援自販機を設置しました。



JOC オリンピック支援自販機

(3) 利用者等の要望の把握方法及び対応方針

利用者にとって快適で満足度の高い公園を実現するため、ひとりでも多くの声を効率よく効果的な方法で集め、その声にできる限り応えられるよう取り組みます。

ア 要望の把握方法および対応方針

多種多様なニーズを持つ利用者から、できる限りの意見・要望を収集します。また、必要としている情報に応じて収集方法を選び、利用者の要望・ニーズの把握につとめます。

(ア) ご意見箱の活用

ご意見箱を体育館、陸上競技場ロビーに設置します。利用者が普段から感じている不満や要望について収集します。サイレント・カスタマー（Silent customer）を防ぐためにも「ご意見箱」の匿名性を維持し、利用しやすい環境に設置するよう配慮します。



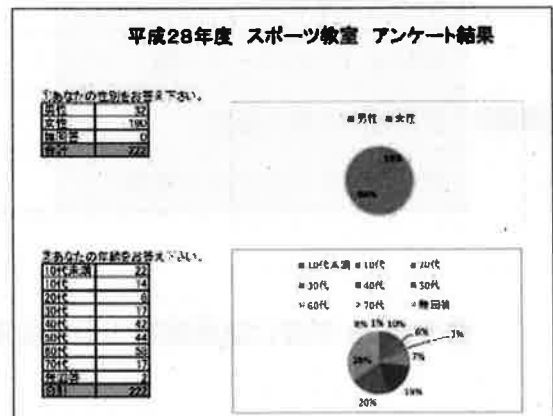
ご意見箱の設置

サイレント
カスタマーとは

苦情や要望があっても、声にあげることができず、利用を止めてしまう人

(イ) アンケート調査

アンケート調査による意見収集を年4回以上実施します。公園全体の利用者を対象にしたアンケート、スポーツ教室の参加者に限定したアンケートなど、それぞれの目的に合ったアンケートを適切な時期におこない、速やかに分析・評価をおこない、管理運営業務にいかします。



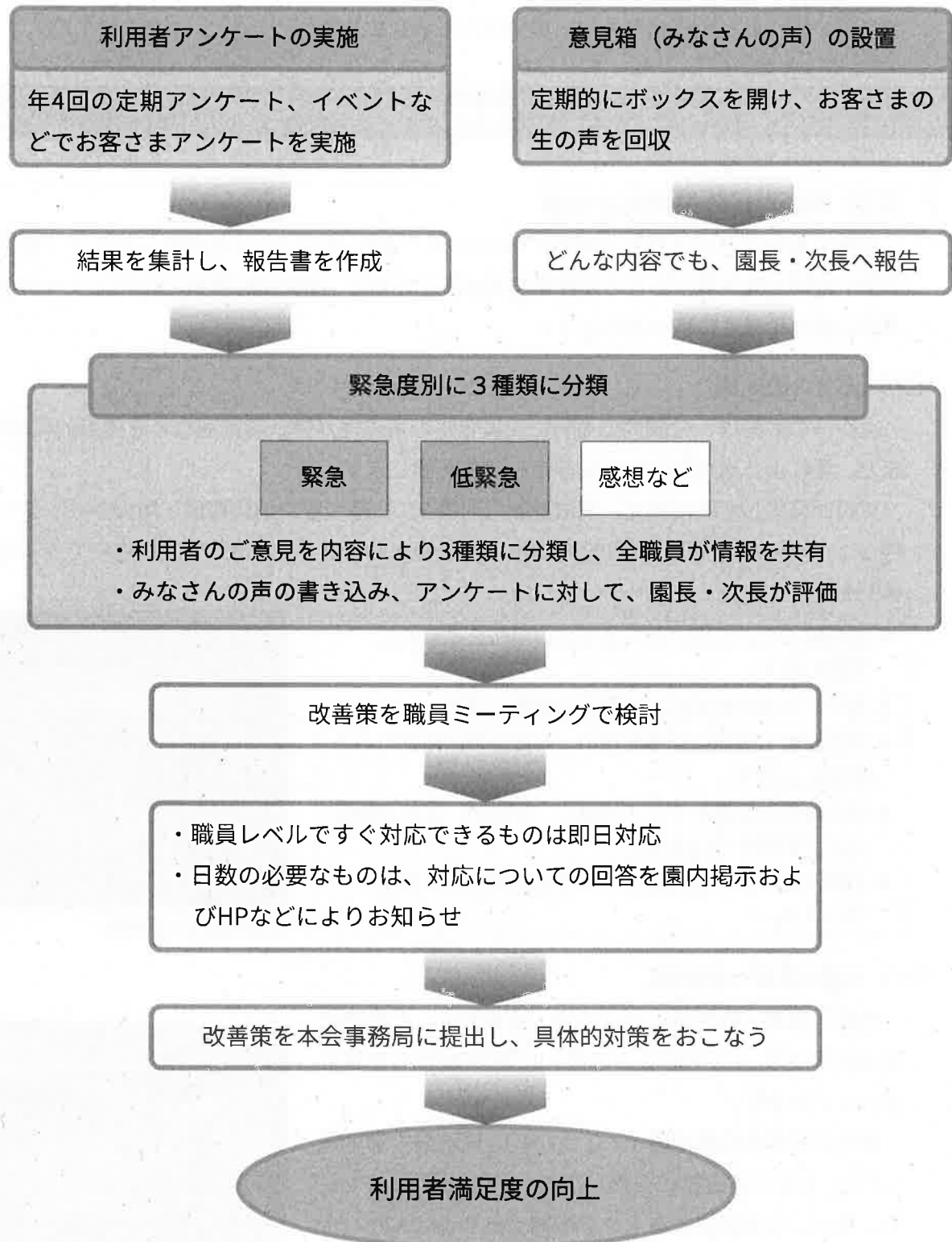
(ウ) その他の主な取り組み

幅広く意見を収集するため、インターネットの活用、常連の利用者から生の声を聞くなど、より多くの意見を収集します。

方策	特徴や取組内容
インターネット (ホームページ)	ホームページにより、簡便で広域な範囲から収集します。
苦情	利用者の苦情も「貴重な意見」として捉え、逃げることなく積極的に収集します。
積極的な働きかけ	VOC (Voice customer=利用者の声) をより多く掴むため、積極的なコミュニケーションをはかります。
県民の声	県民の声であげられた意見にも真摯に受け止め対応します。

(エ) 要望に対する対応方針

要望に対する対応方針については、アンケートや意見箱で集めた意見を緊急度などにより分類し、できる限り利用者の声に応えられるよう取り組みます。



6 事件・事故の防止措置と緊急時の対応等

年間延べ100万人以上の利用者が来園され、さまざまな年齢層が屋内外で多様な活動をおこなっています。事故や災害の発生を想定しての対応また、万一発生した場合は、その被害を最小限にとどめるとともに、再発防止につとめます。

(1) 火災・盗難・災害・事故などの未然防止(防災)対策

ア 災害・事故などの未然防止対策

災害や事故などの未然防止対策については、「起こさないための対策」および「発生後の対策」の両対策を講じることが最重要であることから、全職員の理解と協力により万全の未然防止体制の確立に取り組みます。

(ア) 火災への対策

火災への対策は、公園内でも特に火災発生の可能性が高い電気室などを重点的に管理し、また、雷による自然発火なども想定し対策を講じます。

火災が発生した時に備え、消防計画(別紙9)に基づき、消防機器・防火シャッターの点検および消火器の使用方法や総合的な消防訓練をおこない、想定外を想定内にできる万全の体制を整えます。

- 電気室などの火災が発生しやすい場所を重点的に管理します。
- ガソリンなどの燃料は、厳重に管理します。
- 消防設備の定期点検等を行い、常に正常に作動できる状態にします。
- 消火器等の位置をすべて把握し、緊急時、誰もが使えるよう訓練を行います。
- 初期消火から避難誘導までの総合的な消防訓練を行います。



火災を想定した総合訓練

(イ) 地震・津波への対策

地震・津波への対策については、県が策定した鳥取県震災対策プラン(平成22年度)に基づき対応をおこなっていきます。

過去に鳥取県西部地震(2000年)、鳥取県中部地震(2016年)と近年に2度に渡る大地震を経験しており、幸いにも津波による大きな被害はありませんが、今後いつ発生しても被害を最小限に食い止められるよう、日頃より訓練をおこない地震・津波に備え、利用者の安全確保につとめます。



地震に備えたシェイクアウト訓練

○緊急時に備えた緊急用資材

緊急時には、けが人に対する応急用具や避難するための懐中電灯など、様々な場面に合わせた災害用資材が必要です。「緊急資材」「避難誘導資材」「災害対策資材」の3つの項目に分けて、常備資材を常に確保します。

常備 資材	●緊急資材 救急箱 担架 AED 毛布 タオル 氷 等	●避難誘導資材 懐中電灯 メガホン トランシーバー ヘルメット ホイッスル 等	●災害対策資材 スコップ ロープ 荷車 非常用ラジオ ブルーシート カップ 等

(ウ) 事故への対策

事故への未然防止をはかるため、予見回避義務に基づき、安全対策を講じ、園内巡視や点検などを徹底しておこないます。

遊具などの危険度の高い施設は、職員の日常点検や見回りを欠かさず、事故が起こらないようつとめます。

点検などにより危険箇所を発見した場合は、速やかに立入禁止措置などをおこない、利用者の安全面を確保します。



巡視による、腐食の発見

○主な事故防止の取組

園内巡視	植栽管理	遊具の管理	禁止措置
 <ul style="list-style-type: none"> ・側溝の外れ ・建物のひび割れ ・腐食の確認 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ぶら下がり枝 ・枯損木の撤去 	 <ul style="list-style-type: none"> ・点検(目視・触診) ・ねじの緩み 	 <ul style="list-style-type: none"> ・立入禁止措置をとり、事故の未然防止

(エ) 感染症への対策 新規

毎年、インフルエンザが流行し、2016年には東京で蚊を媒介としたデング熱が発見されました。不特定多数の利用者が来られることを十分に認識し、感染症への対策をおこないます。

項目	取組内容
消毒	アルコール消毒液の設置
呼びかけ	看板などによる手洗い、マスク着用の呼びかけ
換気	定期的な換気
蚊への対策	水たまりの除去、防虫剤の設置
その他	虫除けスプレーの貸出



防虫剤の設置

(オ) 蜂への対策

春先から秋の終わり頃にかけて園内に蜂（主にスズメバチ）が発生します。行楽シーズンになると散策者などが急増するため、事前に蜂の捕獲器を設置し蜂の増殖を防ぎます。また巣を発見した場合は、早急に巣の駆除をおこない、蜂の被害から守ります。



蜂捕獲器の設置



捕獲したスズメバチ



地元新聞への掲載記事

(カ) 小型無人機(ドローン)などへの対策 新規

平成27年度に「県立都市公園における小型無人機などの飛行に係る取扱いについて」の中で、小型無人機（ドローン）などの飛行は、原則禁じられました。ただし、安全面が確保できるならば使用は認められるため、球技場などの広い施設を活用して、利用者の安全面に配慮しながら、小型無人機（ドローン）などへの対応をおこなっています。



小型無人機(ドローン)

イ 防犯対策

犯罪の未然防止のため、職員による巡回や声掛け積極的におこない、環境面では見通しの良い公園、夜間における明るい公園など、犯罪が起こりにくい環境の整備に取り組みます。

(ア) 職員による巡回

職員による巡回を毎日2回（午前・午後）おこないます。特にトイレや更衣室など犯罪が起こりやす場所は重点的に見回り、カメラや不審物がないか確認します。また、不審者に対する対策として、積極的にあいさつなどの声掛けをおこなっていくことで未然防止につとめます。



(イ) 警察との連携・防犯研修の実施

警察による防犯研修をおこないます。犯罪を起こさないための方法、現地を見ながらの改善策など、警察の指摘を現場にいかしていきます。また、不審者への対応策として、職員同士でシミュレーションを実施し、本番さながらの実戦をおこない、対策を講じていきます。



警察による防犯研修

(ウ) その他の主な取り組み

項目	取組内容
監視カメラの設置	犯罪の可能性が高い場所へのカメラ設置（県に要望）
夜間警備の実施	定期的に夜間の見回りを実施（委託）
その他	警察・委託業者との連携、照明の増設、植栽管理

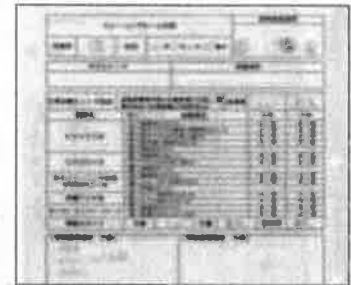
ウ スポーツ活動における事故防止対策

スポーツ活動において、激しい身体接触を伴うもの、身体そのものを攻撃するもの、ラケットやボールを使用するなど、それぞれ固有の様態や特性があります。そのことについて十分に認識しながら、スポーツ活動における事故防止対策をおこなっていきます。

(ア) 日常点検

「小さな気付きが、大事故を防ぐ」という意識を常にもち、施設や用具の日常点検をおこないます。

用具のねじの緩み、フロアに落ちている利用者の汗、芝生の凹凸など、日常点検で小さな不備を見逃さず、迅速に対応することで、スポーツ活動中の事故の未然防止につとめます。



日常点検で使用するチェック表

(イ) 熱中症への対策

熱中症は、夏場に年齢を問わず頻繁に起こりやすく、特に高齢者や子ども達にとっては命を落としかねない重大な病気であると認識し、様々な対策を講じて熱中症の未然防止につとめ、利用者の命を守る取り組みをおこないます。

○熱中症に対する取り組み



(ウ) その他の主な取り組み

項目	取組内容
体重計等の設置	体重計や血圧計の設置し、自己管理に役立てる
準備運動の指導	運動前のストレッチや準備運動の指導
ルールの遵守	張り紙や巡回によるルールやマナーの遵守

エ AED(自動体外式除細動器)の扱いについて

突発的な心臓停止に対する処置は、1分1秒を争う時間が勝負です。布勢公園は広大な敷地を有しており、様々な場所で利用していることを考慮してAEDの配置場所、また機器の正しい使用方法、傷病者に対する適切な処置ができるよう取り組みます。

項目	実施内容
AEDの配置	○公園全体をカバーするため、7台のAEDを適切な位置に配置します。 ○設置場所が分かるよう、張り紙などで掲示します。
日常点検	○日常点検(1日1回)をおこない、バッテリーの確認をおこないます。
講習会の受講	○全ての職員がAED・心肺蘇生法の講習会を年2回以上受講します。



AEDの配置場所

AED・心肺蘇生法
の実習

オ 応急処置に必要な備品の常備

スポーツ活動中に起こるケガだけでなく散策や教室中に起こることが想定され、適切に対応するため応急備品を常備します。主に陸上競技場事務所と県民体育館事務所の2か所に設置しますが、早急な対応ができるよ軽微な備品をテニスコートや野球場にも常備します。

応急処置のための備品

- 外傷部に対して
氷・氷のう
コールドスプレー
タオル
消毒液
ガーゼ
ばんそうこう
- 固定用備品
圧迫用パッド
テーピング
テープ
添え木(シーネ)
包帯
三角巾
- その他
車椅子
はさみ
爪切り
ゴム手袋
ワセリン

(2) 緊急時の体制・対応

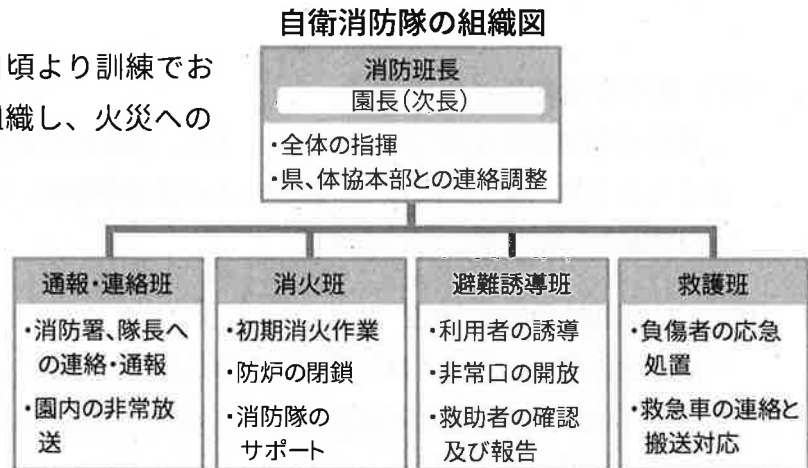
緊急時の体制・対応は、被害を最小限に食い止められるよう、危機管理マニュアルの作成および防災訓練を実施し、緊急時に対応できる体制を構築します。

ア 災害時における対応

(ア) 火災への対応

火災が起こった場合は、日頃より訓練でおこなっている自衛消防隊を組織し、火災への対応をおこないます。

火災の鎮火も大切ですが、利用者の生命を第一優先に考え、火災の状況によっては利用者の避難・誘導に徹し、利用者の命を守るよう取り組みます。



(イ) 地震・津波への対応

地震が発生した場合は、津波が発生することも念頭におき、下表のとおり対応します。

対応 職員対応行動

1次対応	<ul style="list-style-type: none"> ○「緊急地震速報」「津波警報・注意報」が発令されたことを放送します ○利用者を落ち着かせ、揺れがおさまるまで待機します ○移動が可能であれば、ドアを開放し、避難口を確保します ○津波警報が発令された場合は、高台（展望台など）へ避難誘導をおこないます
2次対応	<ul style="list-style-type: none"> ○園内や建物の外観を点検した後、細部の点検をおこないます ○建物・園内に大きな被害がなくても、電気・水道の供給が停止している場合は、供用を見合わせます

(ウ) 台風・豪雨・積雪への対応

天気予報などの情報に注視し、台風などが接近する場合は、下表のとおり対応します。

対応 職員対応行動

1次対応	<ul style="list-style-type: none"> ○天気予報やインターネットで情報を入手し、植栽の養生、ごみ箱を固定します ○看板やコーンなどの飛ばされる恐れがあるものは、移動または撤去します ○被害が出そうな場合は、自主事業のスポーツ教室などを中止し、競技大会などは主催者と協議し判断します ○被害が拡大しそうな場合は、県と協議し、閉園措置を踏まえて判断します
2次対応	<ul style="list-style-type: none"> ○適時園内を見回り、被害状況の把握につとめます ○故障・損傷・積雪などがあれば、早急に復旧作業に取り掛かり、早期の供用開始を目指します

イ 事故発生時における対応

(ア) 事故者の救護

事故の発生の通報を受けた場合、すぐにAEDを持って現地へ急行し、被害者の救護にあたるとともに、救急車の要請・誘導をおこなうなど、被害者の救護を最優先に考え、状況に応じて警察への連絡をおこないます。



救急車の誘導

(イ) 速やかな対応と事故報告

被害者の救護を迅速に指示するとともに、園長への事故発生の一方および処理後の報告をおこないます。状況に応じて、園長および本会事務局、県から対応方法の指示を受け、速やかに適切な対応をおこないます。

(ウ) 二重事故の防止措置

事故発生現場においては、度重なる事故が発生しないように、直ちに施設の立入りや利用についての制限や修繕などの対応をおこない、再発防止措置を講じます。

(エ) 事故の再発防止

事故が発生した場合、迅速に事故状況を把握し記録をするとともに、事故原因を明確にします。記録は、本会の管理する施設全体のデータ集として蓄積・共有し、必要に応じて施設の緊急総点検を実施するなど再発防止につとめます。

ウ 不審者に対する対応

不審者の対応については、状況を踏まえて3段階に分け判断し、以下のとおり対応します。

対応	不審者の状況	内容
1次対応	不審行動がみられる	○対象者の行動を観察します ○2名以上の職員で対応し、声掛けなどをおこないます
2次対応	明らかな不審行動	○警察へ連絡をおこないます ○不審者から利用者を避難、または避難準備をおこないます
3次対応	危害を加えると判断した場合	○利用者の避難を最優先におこないます ○警察が到着するまで、不審者を刺激・興奮させない対応します ○危害を加えてきた場合は、「さすまた」を使用し対応します



さすまたの訓練



不審者を想定したシミュレーション訓練

エ 蘇生法・応急手当の実施と対応

(ア) スポーツ活動中に起きたケガに対する応急手当

活動中に起こす主なケガは、捻挫・打撲・肉離れが大半であり、ケガが起こった場合は、症状の程度は関係なく「RICE」の処置を施し様子をみます。骨折などの疑いがある重傷の場合は、救急車を要請し適切な対応がとれるよう取り組みます。

RICE処置

Rest(安静)	スポーツ活動の停止
Ice(アイシング)	患部の冷却
Compression(圧迫)	患部の圧迫
Elevation(挙上)	患部の挙上

(イ) 心肺停止などに対する対応

心肺や呼吸の停止が確認できた場合、救急車の要請をおこない、職員同士で連携しAEDの使用、心肺蘇生法を施します。1人での対応を迫られた場合は、利用者への協力や的確な指示をおこない、途切れることなく救急隊の到着までおこなえるよう取り組みます。

オ 受援体制について 新規

平成30年7月豪雨では、避難指示があった自治体において、人的・物的両面の応援や受援に関する具体的な運用方法および役割分担などが経験不足であったことから、多くの混乱が見られました。近年発生した鳥取県中部地震や豪雨などの教訓を踏まえ、大規模災害が発生した場合における、受援体制を構築します。

(ア) 基本的な考え方

応援要請があり災害対策所として開設した場合、現地支援本部と連絡調整し、県や市の応援自治体の受け入れをおこないます。また、受援担当者を速やかに決定し応援状況の把握、応援に係る調整をおこないます。

(イ) 受け入れにおける具体的業務

応援要請があった場合、以下の内容で受け入れをおこないます。

項目	内容
応援の要請の受け入れ	被害の全貌が明らかでなく、受援の具体範囲や内容が定まっていない場合でも、応援要請があれば速やかに受け入れ態勢を整えます。
応援自治体からの支援の申し出の受付	応援自治体から人的・物的支援の申し出があった場合は可能な限り対応します。
応援自治体の業務環境整備	応援自治体がスムーズに避難所の開設ができるように、スペースや机・椅子などの確保をおこない、業務の環境整備につとめます。
情報提供や応援要請内容の連絡	支援本部と可能な限り連絡を取り合い、情報の提供や現場に必要な環境・物資などの要請をします。
人的・物的受援状況の把握	災害規模、避難者の状況を確認し、避難所として円滑に対応できるよう、職員配置の体制や必要な物資の把握をします。
災害後の報告、情報収集	避難所の開設が解除された際には、災害対策本部に布勢総合運動公園の状況を報告し、他の避難所の情報を収集します。その情報を踏まえ、今後の受援業務に役立てます。

カ 防災公園としての取り組み 新規

布勢公園の地域防災計画は、災害対策基本法第40条の規定に基づき、県民に重大な影響を及ぼすおそれのある災害に対処するため、災害予防などに関し、県および防災関係機関と連携し、県民の生命を災害から保護するとともに、災害による被害を軽減することの趣旨を理解し取り組みます。

防災公園としての
主な役割

避難場所

救護救済活動の場

復旧・復興の活動拠点

(ア) 避難場所としての体制・対応

この度の7月に起こった記録的大雨による災害で、初めて緊急避難所として布勢公園が活用されました。実際の避難所での対応を通して得た経験は大きく、施設側の課題や問題点を把握することができ、今後の対策にいかせるよう取り組みます。

a 避難所の運営

避難所運営マニュアル（鳥取県標準モデル）に基づき、県や市の職員と連携して、避難所の設置、管理運営、避難者の受け入れなどをおこないます。

b 人員体制

適切な職員数が配置できる体制を整えます。最大で170人が避難され、市の職員を含めて4名での対応となりました。避難者の受付、誘導、物資の運搬などをおこなうには、4名では手一杯だったのが現状だったため、今後は適切な人数が配置できるよう取り組みます。

c 物資について

避難所として、必要な物資を充実させます。高齢者などが多く避難され、車いすや眠るためのベンチなどが多く活用されました。また、卓球フェンス（仕切りに使用）が重宝されたことなどを踏まえ、県と密接に連携しながら、避難所としての物資の充実をはかります。



救援物資を運ぶ職員



避難所開設に駆けつけた、鳥取市職員

(イ) 広域防災拠点として

布勢公園は県内の広域防災拠点の1つであり、東郷湖羽合臨海公園南谷広場（中部圏域）、鳥取県消防学校（西部圏域）など、広域防災拠点の機能を分担できる施設などと、災害の状況に応じて県や他施設との連携をはかりながら取り組みます。

(ウ) ヘリコプターの離発着について

布勢公園の球技場は広域搬送拠点 (SCU) などの場所に設定されており、ヘリコプターの離発着が緊急時にはおこなわれます。その場合には、利用者の安全確保や救急車の搬送が円滑におこなわれるよう、適切な対応ができるよう取り組みます。



ドクターヘリ

キ J-アラートシステムを活用した緊急体制

全国瞬時警報システム、通称：J-ALERT (Jアラート：ジェイアラート) は、通信衛星と市町村の同報系防災行政無線や有線放送電話を利用し、緊急情報を住民へ瞬時に伝達するシステムです。



県委託事業者による J-ALERT 定期点検

対処に時間的余裕がない大規模な自然災害や弾道ミサイル攻撃などについての情報を、「国から住民まで直接瞬時に」伝達することができる J-ALERT の最大の特長をいか

し、緊急情報を受信した場合は、すみやかに利用者の安全を確保し、最善の対応をとります。

また、国や県がおこなう情報伝達訓練などに積極的に参加し、即応体制をととのえます。緊急時に情報伝達が確実におこなわれるよう、毎日の日常点検をおこないます。

伝達される緊急情報
(2016年10月現在)

- 地震情報 (6種類)
- 津波情報 (3種類)
- 火山情報 (3種類)
- 気象情報 (7種類)
- 有事関連情報 (5種類)

内閣官房国民保護ポータルサイトより

ク その他

(ア) PM2.5・黄砂などに関する注意喚起

PM2.5や黄砂などに対応するため、鳥取県の環境立件推進課から出される情報を、ロビーに掲示し注意喚起をおこないます。



受付時に注意喚起をおこなう

(イ) 差別落書きへの対応

差別落書きについては、鳥取県が定めた「差別落書き未然防止指針」より未然防止にため、万が一発見された場合は「差別落書き対応要領」に基づき、適切に対応します。

(ウ) 事故・被害が起こった場合の報告および公表

施設や設備に関する事故・被害が起こった場合の報告および公表については、以下の内容に該当する場合は速やかに県への報告および公表をおこないます。

- 1 来園者および従業員の身体、生命に被害を生じさせる可能性がある場合
- 2 施設・管理に大きな影響が生じる場合

(3) 保険の加入の考え方と設定内容

ア 考え方

施設設備の不備があった場合やスポーツ教室などの活動中にケガが起こった場合の補償に備えて、保険に加入します。

イ 設定内容

公園の瑕疵で起こる事故などに係る「施設所有者」、自主事業でおこなう「イベント」「スポーツ教室」の3つを対象とした、それぞれの保険に加入します。

● 公園全体に係る保険

保険の種類	対象	保証額
施設所有者賠償責任保険	対人	1億円／1事故10億円
	対物	1事故500万円
	免責	1事故1,000万円

● スポーツ教室に係る保険

保険の種類	対象	保証額
スポーツ安全保険	教室の活動中のケガ 経路往復中の事故	死亡.....2,000万円 後遺症.....3,000万円 入院.....1日 4,000円 通院.....1日 1,500円

● イベントに係る保険

保険の種類	対象	保証額
イベント保険	イベント活動中のケガ 経路往復中の事故	死亡.....100万円 後遺症.....100万円 入院.....1日 1,500円 通院.....1日 1,000円

7 既存のネーミングライツ命名権者を活用した取組の提案

本会は、既存のネーミングライツ命名権者を活用し、その愛称などの定着・周知・普及をはかるため、その取り組みを提案致します。

別紙 10 参照

8 管理経費

布勢公園の第4期指定管理収支計画策定にあたっては、安全・安心な公園管理、利用者へのサービスの向上をはかりつつ、管理経費の効率化を進め、安定的に管理運営がおこなえるよう収支計画の策定をおこないます。

(1) 管理経費の効率化の考え方と収支計画

管理経費の効率化については、安全を確保するための施設の修繕や利用者への更なるサービスの向上をはかる項目に重点的に予算を配分します。一方で費用対効果を十分に考慮したうえで実施するなど、徹底的に経費の節減につとめられるよう取り組みます。

(収支計画の詳細については、様式3に記載)

○ 重点的に予算を配分する項目

項目	主な内容
施設の修繕・更新	築30年以上経過し老朽化してきているため、全体的に施設の修繕・更新が必要 過去4年間の修繕費平均は、約1,200万円。今後さらなる増加が予想される
公平な公園づくり	障がい者のスポーツ拠点としてのバリアフリー化 子育て世代に向けた環境整備(子どもトイレ、授乳室など) グローバル化への対応(看板の更新など)
サービスの向上	サービス向上への積極的な改修や設備の導入など

○ 経費の節減

項目	主な内容
費用対効果	費用対効果の徹底
契約の見直し	電力などの契約の見直し
委託業務	原則複数年契約の競争入札とし、委託費を節減
無駄の排除	全職員が節電・節水を徹底し、無駄を排除
省エネ化	古い器具を更新し、電気使用量の節減

(2) 委託料額

鳥取県立布勢総合運動公園指定管理者の委託料額として、以下の委託料を申請します。

総額及び年度内訳	提示額	県委託料上限額
総額(5か年)	1,437,280千円	1,437,312千円
平成31年度	285,360千円	285,368千円
平成32年度	287,980千円	287,986千円
平成33年度	287,980千円	287,986千円
平成34年度	287,980千円	287,986千円
平成35年度	287,980千円	287,986千円

9 組織及び職員の配置等

本会は、長年この布勢公園を管理運営してきた経験があり、利用者が常に快適で安全にご利用いただけるようつとめてきました。

これまで培ってきた経験と実績、運営ノウハウに基づいた各種規定やマニュアルなどを活用し、安全かつ効率的な管理運営体制を構築します。

(1) 管理運営の組織

ア 施設長の人選

責任者である施設長には、都市公園の管理運営やスポーツ振興事業に長年精通し、民間経験を有する人材を配置します。

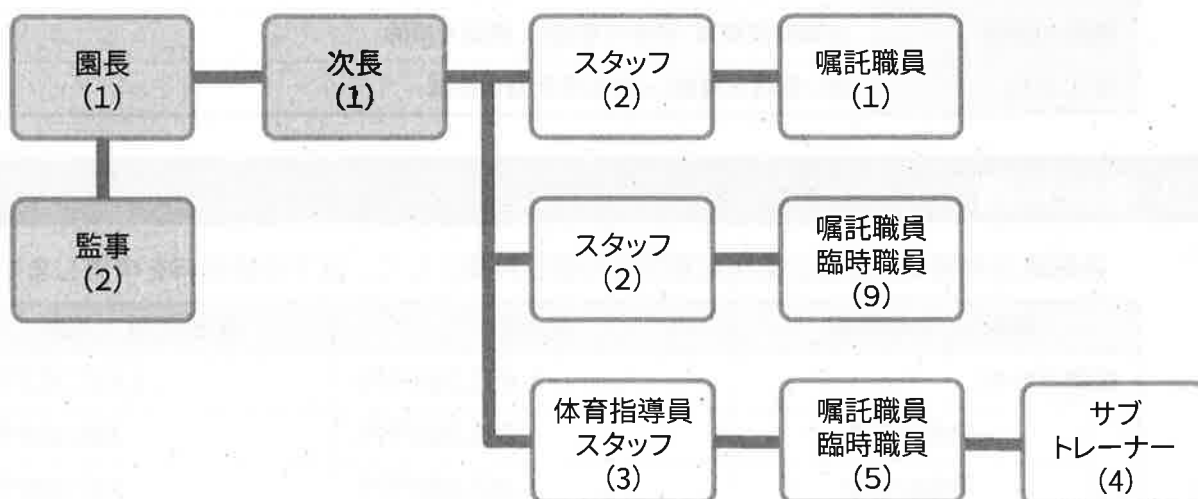
責任者が不在の場合に、管理運営および緊急時の対応が可能な職員として、次長を配置します。

イ 管理運営の実施体制

(ア) 業務実施体制

業務実施体制は、園長、次長の他に会計・事務処理など経理を担当する職員 3 名、施設設備の維持管理・園内清掃などの施設管理を担当する職員 11 名、教室・トレーニング指導やイベント運営などの管理運営を担当する職員 8 名の計 24 名で管理運営をおこなっていきます。

また、民間ボランティア制度を採用し、トレーニングルームのサブトレーナーを配置することで、管理運営の充実をはかります。



(イ) 経験豊富な有資格者と各スポーツに精通した職員の配置

職員には、長年この布勢公園の管理運営に従事している経験豊富な人材が多数在籍しており、公園管理運営士や体育施設管理士など、布勢公園の管理運営にいかすことのできる様々な資格を有しているため、万全な体制で公園管理をおこなっていきます。(別添 職員の保有資格参照)

公園内には7施設のスポーツ施設があり専門性を有するため、各競技に精通している職員を配置し、大会運営のサポートや指導業務ができる体制を整えます。



高校野球鳥取大会運営サポート
職員による試合前の散水



陸上競技大会運営サポート
職員による写真判定装置の操作



職員が講師を務める
バドミントンジュニア教室

(2) 職員の職種等

ア 職員プロフィール(2018年6月現在)

<p>園長</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 布勢総合運動公園の総括に関する事 ● 職員の人事管理・分担に関する事 ● 出納員の職務に関する事 ● 公印の管守に関する事
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門競技【硬式野球】 	<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CPR&AED プロバイダー ● 上級体育施設管理士

次長

業務

- 施設運営及び管理に関すること
- 体育施設の整備保全に係る管理指導に関すること
- 業務報告に関すること
- テニス教室の運営に関すること
- 予算及び決算に関すること
- 外部評価委員会に関すること
- 布勢総合運動公園内外の連絡調整に関すること

実績

- 専門競技【サッカー】
- 第28回全国大学
サッカー選手権3位

資格

- 上級体育施設管理士
- 教員免許(初等・体育)
 - あいサポーター
 - 甲種防火管理者
 - 認知症サポーター
- 安全衛生推進者講習者
 - 日体協公認
スポーツ指導員(テニス)
スポーツプログラマー
- 初級障がい者スポーツ指導員

スタッフ兼体育指導員

業務

- 指定管理者制度に関すること
- 入札及び契約事務に関すること
- 体育施設の整備保全・管理指導に関すること
- 布勢総合運動公園内外の連絡調整に関すること
- 造園保守管理に関すること
- 芝生ラウンド利用調整に関すること
- 修繕要望に関すること
- ボランティア団体等との連絡、調整に関わること

実績

- 専門競技【陸上競技】
- 中学中国総体
800m 出場
- 中国高校総体
1,500m
3,000mSC 出場

資格

- 公園管理運営士
- 芝草管理技術者3級
 - 体育施設管理士
 - 緑の安全管理士
 - 初級障がい者
スポーツ指導員
- 公認陸上審判員B級
 - ノルディック
ウォーク公認指導員
- あいサポートメッセンジャー

スタッフ

業務

- 指定管理者制度に関すること
- 入札及び契約事務に関すること
- 機械設備の保安管理に関すること
- ボイラー及び危険物の保安管理に関すること
- 備品管理および備品台帳の作成に関すること
- 備品要望に関すること
- 年間月間利用調整、利用団体調整に関すること
- 体育施設の整備保全に関すること

実績

- 専門競技【野球】
- 天皇賜杯全日本軟式野球大会
優勝2回
- 秋田国体
軟式野球競技 優勝

資格

- 体育施設管理士
- ボイラー取扱技能講習者
 - 日本公園施設業協会
公認遊具の日常点検講習修了
- 危険物取扱者(乙4類)
 - 応急手当普及員

スタッフ

業務

- 庶務及び会計管理に関すること
- 帳簿管理
- 給与及び旅費・賃金に関すること
- 職員の勤務状況の報告に関すること
- 職員の福利厚生に関すること
- 郵券に関すること

実績

- 専門【マーチング】
- 全日本マーチングフェスティバル
2年連続出場
- 全日本吹奏楽コンクール中国大会
3年連続出場
- 全国高校総合文化祭(マーチング・バトントワリング部門)
3年連続出場

資格

- 全商ワープロ実務検定3級
- 全商英語検定2級
 - 公認障がい者
初級スポーツ指導員
- 全商簿記実務検定1級
(工業簿記科目)
- 全商経済検定3級
(流通経済科目)

体育指導員

業務

- 鳥取県環境管理システムに関わること
- ホームページの管理運営に関わること
- スポーツ教室の指導に関わること
- 意見箱及び苦情・要望に関すること

実績

- 専門競技【陸上】
- 国民体育大会陸上の部
少年男子5,000m競歩
3位入賞
- 全日本競歩選手権
10km競歩 3位
- 全日本インカレ
10,000m競歩
4年連続 出場
- 全国高等学校総体
陸上競技の部5,000m競歩
2年連続出場

資格

- 公認遊具の日常点検
講習修了
- 教員免許(体育)
- 危険物取扱者(乙4類)
- 日本グラウンドゴルフ
協会3級普及指導員
- ボイラー取扱者講習修了
- あいサポートメッセンジャー
- 日本陸上競技連盟公認
ジュニア指導員専門科目修了
- 公認陸上審判員(B級)

スタッフ

業務

- 施設利用の受付・許可に関すること
- 利用集計に関すること
- 振替伝票作成及び振込
- 自動販売機に関すること
- 施設使用料徴収・調停・報告に関すること

実績

- なし

資格

- 初級障がい者スポーツ
指導員
- 公認トランポリン普及
指導員
- 教員免許(英語)
- 学校図書館
司書教諭免許

スタッフ

業務

- 事業パンフレット等広報出版物に関すること
- トレーニング室等の管理に関すること
- 備品管理及び備品台帳の作成に関すること
- 職場体験・実習等の受入れに関すること
- AEDの管理に関すること
- イベントの企画運営に関すること

実績

- 天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会
出場5回以上
- 国民体育大会卓球競技 出場3回以上
- 中国高校卓球選手権大会
団体の部 3位
- 鳥取県高校総体卓球競技 団体・個人の部 優勝

資格

- 日体協公認卓球コーチ
 - 教員免許(体育)
 - 卓球3段
- 公認初級障がい者スポーツ指導員
 - 日体協公認トレーニング指導士
- ボイラー取扱技能講習者
- 公認スポーツ救急手当プロバイダー
- スペシャルオリンピックス日本コーチクリニック講習修了(卓球競技)
- 卓球公認審判員

スタッフ

業務

- 体育施設の整備保全に関すること
- スポーツ教室の企画、指導に関すること
- 減免申請の受付・処理に関すること
- 自衛消防隊及び防犯訓練の計画・立案・実施に関すること
- Jアラートに関すること

実績

- 専門競技【バドミントン】
- 鳥取県高校総体バドミントン 出場
- 高城小学校親子参観エコバック指導
- 地域のグループホーム折り紙指導

資格

- 体育施設管理士
- 甲種防火管理者
- 計算技術検定4級
 - 保育士
- 幼稚教諭免許2種
- 認知症サポーター
 - あいサポーター
- スポーツ少年団認定員

<p>嘱託職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ●トレーニング室及びプレイルームの管理に係る補助に関すること ●スポーツ教室の指導、体育指導イベント補助に関すること ●受付業務、事務処理補助等に関すること ●その他業務補助に関すること
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スケート(フィギュア) バッジテスト級7級 ●全日本選手権出場 ●国民体育大会冬季大会4位 ●全国高等学校総合体育大会3位 ●西日本選手権大会4位 ●県選手権大会優勝7回 	<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公認スケート指導員 ●公認スケートA級審判員 ●公認スケート技術審判員 (テクニカルスペシャリスト) ●応急手当普及員
<p>嘱託職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設設備の使用受付・許可の業務補助に関すること ●体育指導・教室・イベントの補助に関すること ●減免申請の受付・処理に関すること ●施設利用(体育館・テニスコート)の受付・許可の業務補助に関すること ●その他の業務補助に関すること
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門競技【卓球】 ●全日本卓球選手権大会 出場 	<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公認初級障がい者スポーツ指導員 ●卓球1段 ●ワープロ検定2級

嘱託職員

業務

- テニス教室の指導及び運営に関すること
- スポーツ教室の指導・体育指導
イベントの補助に関すること
- 受付業務、事務処理補助等に関すること
- その他の業務補助に関すること

実績

- 専門競技【テニス】
- 全国高校総体
テニス競技の部
男子シングルス出場
- 鳥取県テニス選手権
ダブルスの部 優勝
- 鳥取県テニス選手権
優勝

資格

- 公認スポーツ指導者
(テニス指導員)
- 危険物取扱免状
(乙種第4類)

嘱託職員

業務

- トレーニング室及びプレイルームの管理に係る
補助に関すること
- スポーツ教室の指導・体育指導
イベントの補助に関すること
- 受付業務、事務処理補助等に関すること
- 業務補助に関すること

実績

- 日本選手権 2位
- 日本インカレ 優勝

資格

- 公認陸上審判員B級

<p>嘱託職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トレーニング室及びプレイルームの管理に関わる補助に関すること ● 体育指導・教室・イベントの補助に関すること ● 受付業務、事務処理補助等に関すること ● その他の業務補助に関すること
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中国高校総体 陸上競技の部 やり投げ 出場 ● 鳥取県高校総体 陸上競技の部 やり投げ 出場 	<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全日本剣道連盟剣道2段
<p>嘱託職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トレーニング室及びプレイルームの管理に係る補助に関すること ● スポーツ教室の指導・体育指導 イベントの補助に関すること ● 受付業務、事務処理補助等に関すること ● その他の業務補助に関すること
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門競技【バドミントン】 ● 中国高校選手権大会 3位 ● 全日本実業団 ベスト16 ● 秋田国体出場 	<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 酸素欠乏危険作業 主任者 ● バドミントン2級 公式審判員 ● フォークリフト ● ガス溶接作業主任者

嘱託職員

業務

- トレーニング室及びプレイルームの管理に関わる補助に関すること
- 体育指導・教室・イベントの補助に関すること
- その他の業務補助に関すること

実績

- 第9回世界女子相撲選手権大会1位
- 第1回世界ジュニア女子相撲選手権優勝
- 第2回世界ジュニア女子相撲選手権優勝

資格

- 教員免許(国語)
- 日本相撲連盟公認段位
参段

嘱託職員

業務

- 電機背指の保安・管理に関すること
- 機械設備の保安、管理に関すること
- 放送設備の維持管理にかんすること
- その多の業務補J緒に関すること

実績

- なし

資格

- 電気主任技術者第3種
 - 電気工事士第1種
- 高圧電気工事技術者
 - 1級電気工事施
 - 工管理技士
 - 消防設備士
- 外線工事技能認定1級
 - CAD 利用技術者2級
 - 工事担任者
- 液化石油ガス設備士

<p>嘱託職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設設備の保全維持管理業務補助に関すること ●公園美化(花壇管理を含む)に関すること ●その他の業務補助に関すること
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第53回箱根駅伝優勝 ●第54回箱根駅伝優勝 ●全国高校総体 陸上競技 1,500m障害 優勝 	<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上級体育施設管理士 ●CPR&AED プロバイダ ●公認陸上審判員A級 <ul style="list-style-type: none"> ●教員免許(体育) ●小学校教員免許 ●日本公園施設業協会 遊具の日常点検講習会 修了者
<p>嘱託職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公園美化(花壇管理を含む)に関すること ●その他業務補助に関すること
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ●なし 	<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小型船舶操縦免許

嘱託職員

業務

- 施設設備の保全、維持管理委の業務補助に関すること
- 公園美化（花壇管理を含む）の業務補助に関すること

実績

- 鳥取マラソン2018
5位入賞
- 全国障がい者
陸上競技大会
1,500m 優勝
- ジャパンパラ大会
5,000m 優勝

臨時職員

業務

- 施設管理業務補助に関すること

実績

- 全国高校総体 出場
- 国民体育大会
陸上競技の部
やり投 出場
- 指導者として
全国高校総体
やり投2位 走高跳6位
国民体育大会 やり投8位

資格

- 教員免許(体育)
- 公認陸上審判(S級)

<p>臨時職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none">●施設管理の業務補助に関すること
<p>嘱託職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none">●施設設備の保全、維持管理の業務補助に関すること●公園美化花壇管理を含む)の業務補助に関すること
<p>臨時職員</p>	<p>業務</p> <ul style="list-style-type: none">●施設管理業務補助に関すること

イ 職員の職種

職名(配置)	雇用関係	勤務日数	主な業務内容	継続雇用の可否	人件費(千円)
園長(陸上)	常勤	21日	管理責任者	可	8,149
次長(体育館)	常勤	21日	責任者補佐、事業統括、予算・決算、業務報告	可	4,853
スタッフ(陸上)	常勤	21日	造園保守管理、入札・契約事務、修繕業務統括	可	5,362
スタッフ(陸上)	常勤	21日	利用調整業務、危険物保安管理、備品管理統括	可	4,915
スタッフ(陸上)	常勤	21日	会計、利用集計、利用許可	可	4,797
体育指導員(陸上)	常勤	21日	指導業務統括、イベント運営、広報担当	可	4,661
スタッフ(体育館)	常勤	21日	トレーニングルーム管理運営、イベント運営統括	可	4,762
スタッフ(陸上)	常勤	21日	会計統括、事務統括、福利厚生	可	5,080
スタッフ(体育館)	常勤	21日	スポーツ教室運営統括、消防設備保安管理	可	4,805
嘱託職員(陸上)	常勤	21日	施設設備維持管理、公園美化	可	2,836
嘱託職員(体育館)	常勤	21日	電気主任、電気・機械設備保安管理(高齢者雇用)	可	2,841
嘱託職員(陸上)	常勤	21日	施設設備維持管理、公園美化	可	2,997
嘱託職員(体育館)	常勤	21日	利用集計、利用許可、庶務	可	3,110
嘱託職員(体育館)	常勤	21日	教室・トレーニング指導、イベント運営、受付	可	3,031
嘱託職員(体育館)	常勤	21日	教室・トレーニング指導、イベント運営、受付	可	2,893
嘱託職員(陸上)	常勤	21日	施設設備維持管理、公園美化	可	2,696
嘱託職員(体育館)	常勤	21日	教室・トレーニング指導、受付	可	2,411
嘱託職員(体育館)	常勤	21日	教室・トレーニング指導、受付	可	3,028
嘱託職員(体育館)	常勤	21日	教室指導、受付	可	2,939
臨時職員(体育館)	非常勤	21日	夜警担当、受付、公園美化(高齢者雇用)	可	1,353
臨時職員(陸上)	非常勤	15日	夜警担当、公園美化(高齢者雇用)	可	614
臨時職員(陸上)	非常勤	15日	夜警担当、公園美化(高齢者雇用)	可	614
嘱託職員(陸上)	非常勤	21日	公園美化(障がい者雇用)	可	1,505
嘱託職員(陸上)	非常勤	21日	公園美化(障がい者雇用)	可	1,412

(別添)鳥取県立布勢総合運動公園職員の保有資格

職名	保有資格
園長	上級体育施設管理士、CPR&AED プロバイダー
次長(体育館)	上級体育施設管理士、日体協公認スポーツ指導員(テニス)、日体協公認スポーツプログラマー、初級障がい者スポーツ指導員、中高教員免許(保健体育)、小学校教員免許、甲種防火管理者、安全衛生推進者
スタッフ(陸上)	公園管理運営士、体育施設管理士、緑の安全管理士、芝草管理技術者3級、初級障がい者スポーツ指導員、ノルディックウォーク公認指導員、陸上競技公認審判員B級、あいサポートメッセンジャー、中高教員免許(保健体育)
スタッフ(陸上)	体育施設管理士、危険物取扱者(乙4類)、消防局応急手当普及員、ボイラー取扱技能講習者、遊具の日常点検講習会修了者
スタッフ(陸上)	初級障がい者スポーツ指導員、トランポリン普及指導員、ボイラー取扱技能講習者、中高教員免許(英語)、学校図書館司書教諭免許
体育指導員(陸上)	中高教員免許(保健体育)、日本陸上連盟ジュニア指導員、初級障がい者スポーツ指導員、ボイラ取扱技能講習者、遊具日常点検講習会修了者、あいサポートメッセンジャー
スタッフ(体育館)	日体協公認コーチ(卓球)、卓球3段、卓球公認審判員、初級障がい者スポーツ指導員、トレーニング指導士、スポーツ救急手当プロバイダー、中高教員免許(保健体育)
スタッフ(陸上)	初級障がい者スポーツ指導員、日商簿記検定3級、全商簿記実務検定1級、全商英検2級、全商商業経済検定3級、全商ワープロ実務検定3級
スタッフ(体育館)	体育施設管理士、日体協公認スポーツ指導員(バドミントン)、初級障がい者スポーツ指導員、甲種防火管理者、保育士、幼稚園教諭免許、スポーツ少年団認定員
嘱託職員(陸上)	上級体育施設管理士、CPR&AED プロバイダー、陸上競技公認審判員A級、中高教員免許(保健体育)、小学校教員免許、遊具の日常点検講習会修了者
嘱託職員(体育館)	電気主任技術者第3種、電気工事士第1種、高圧電気工事技術者、1級電気工事施工管理技士、消防設備士(甲4類、乙7類)、外線工事技能認定1級、CAD利用技術者2級、工事担任者、冷凍空気調和機器施工技能士2級、液化石油ガス設備士
嘱託職員(陸上)	小型船舶操縦免許
嘱託職員(体育館)	初級障がい者スポーツ指導員、卓球1段、ワープロ検定2級
嘱託職員(体育館)	バドミントン3級審判員、フォークリフト運転免許、ガス溶接、酸素欠乏作業従事者
嘱託職員(体育館)	日体協公認指導者(スケート)、日本スケート連盟公認テクニカルスペシャリスト、スケートA級審判員、消防局応急手当普及員
嘱託職員(陸上)	陸上競技公認審判員B級
嘱託職員(体育館)	陸上競技公認審判員B級、中高教員免許(保健体育)
嘱託職員(体育館)	中高教員免許(国語)、相撲3段
嘱託職員(体育館)	日体協公認指導者(テニス)
臨時職員(体育館)	
臨時職員(陸上)	日体協公認コーチ(陸上競技)、陸上競技公認審判員S級、中高教員免許(保健体育)
臨時職員(陸上)	グラウンド・ゴルフ3級普及員、危険物取扱者(乙4類)、ボイラー技師2級、フォークリフト運転技能者、高圧ガス第2種販売主任者、高圧ガス第3種冷凍機取扱主任者
嘱託職員(陸上)	
嘱託職員(陸上)	

(3) 現在の指定管理者の雇用する施設職員の継続雇用に関する方針

本会は、現施設職員について、引き続き施設の管理運営に従事することを希望する者の継続雇用を原則とし、「人材は財産」を基本的な考え方としています。「県民の体力向上およびスポーツ精神の高揚」の実現に向けて、職員一人ひとりがいきいきと、やりがいをもって働き、もてる力を最大限発揮できる職場をめざします。

1 性別・年齢・障がいの有無などによる差別をしない「人物本位の採用」

2 個々の能力を活かすための「適材適所の人材配置」

3 個々の役割と成果に応じた「適格な処遇」

また、今日では、心身の健康問題を抱える人も多く、メンタルヘルスの大切さは誰もが認めるところです。

ワーク・ライフ・バランス（生活と仕事を調和させることで得られる相乗効果、好循環）を実現するためにも、時間外労働の削減と有給休暇の取得を促進し、積極的に働き方改革をすすめていきます。

(4) 障がい者又は高齢者の雇用計画

障がい者又は高齢者の雇用計画については、以下のとおり計画します。

区分	職種（職名）	雇用関係	月勤務日数	従事する業務内容	人数
障がい者	施設管理	嘱託職員	21日	公園美化	2人
	計				2人
高齢者	電気技師	嘱託職員	21日	電気・機械設備保安管理	1人
	施設管理	臨時職員	21日	夜警、受付、公園美化	1人
	施設管理	臨時職員	15日	夜警、公園美化	2人
	計				4人

(5) 日常の職員配置

勤務ローテーションは、労働基準法などの関係法令を遵守し、管理運営を効率的におこなうための適正な職員配置をおこないます。

なお、園長不在時に事件や事故、災害などが発生した場合には、緊急連絡網を用いて園長ならびに本会事務局に連絡し、一次対応が遅れない体制を確立します。

ア 標準的な職員配置

- 1 管理責任者の園長または次長を配置します。
責任者不在の場合は、管理および緊急時の対応が可能な正職員を配置します。
- 2 陸上競技場および県民体育館の受付に常時各1名以上配置します。
- 3 県民体育館トレーニングルームに指導員を常時1名配置します。
- 4 電気主任を1名配置します。
不在の場合は、緊急時の対応が可能な正職員を配置します。

県民体育館 勤務体制図 (平日の勤務体制例) ……休憩 (開館時間9:00~22:00)

業務内容	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
管理責任者															
受付担当①															
受付担当②															
受付担当③															
トレーニング指導員①															
トレーニング指導員②															
施設管理担当①															
施設管理担当②															
管理運営担当															

陸上競技場 勤務体制図 (平日の勤務体制例) ……休憩 (開館時間9:00~22:00)

業務内容	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
管理責任者															
受付担当①															
受付担当②															
施設管理担当①															
施設管理担当②															
施設管理担当③															
施設管理担当④															
管理運営担当①															
管理運営担当②															

一週間の勤務ローテーション(例)

配置	職種	月	火	水	木	金	土	日
陸上競技場	園長	休	A	休	C	A	A	A
	スタッフ	休	A	<u>A</u>	休	C	A	A
	スタッフ	E	休	E	A	休	C	A
	スタッフ	A	A	C	<u>A</u>	A	休	休
	体育指導員	休	C	A	C	休	A	<u>A</u>
	スタッフ	A	<u>A</u>	休	A	A	C	休
	嘱託職員	C	休	A	休	C	<u>A</u>	A
	嘱託職員	A	C	A	<u>A</u>	休	休	C
	嘱託職員	<u>A</u>	E	休	休	E	A	C
	嘱託職員	A	A	A	A	A	休	休
	嘱託職員	A	A	A	A	A	休	休
	臨時職員	H	H	休	休	H	H	休
	臨時職員	休	休	H	H	休	休	H
県民体育館	次長	B	D	B	休	B	B	休
	スタッフ	Bと	<u>B</u>	休	B	Dと	休	B
	スタッフ	D	休	D	E	休	<u>B</u>	B
	嘱託職員	B	Dと	休	<u>B</u>	D	B	休
	嘱託職員	E	E	Bと	休	休	D	<u>B</u>
	嘱託職員	休	休	E	Dと	Bと	Bと	D
	嘱託職員	<u>B</u>	B	B	D	E	休	休
	嘱託職員	Dと	B	休	Bと	<u>B</u>	Dと	休
	嘱託職員	休	Bと	Dと	B	B	休	D
	嘱託職員	休	D	<u>B</u>	休	D	B	B
	臨時職員	F	休	F	F	休	F	F

A 8:30~17:15/B 8:30~17:15/C 12:30~21:15/D 13:30~22:15/E 10:45~19:30/

F 16:30~22:15/H 17:15~21:15

※下線は施設開錠担当、とはトレーニングルーム指導員

(6) 人材育成

利用者へのよりよいサービスの提供や安全・安心な施設の管理運営をおこなうためには、従事する職員の資質・能力の向上が不可欠であり、職員は貴重な財産となります。

職員を育成するため、多様な方策による人材開発に積極的に取り組むとともに、職員が安心して働ける職場づくりを実現します。



ア 就業体制・労働法規遵守・福利厚生の体制

就業体制・労働法規遵守については、労働基準法やその他労働関係法規を遵守した就業体制を確保し、職員に加重な業務の負担を強いることのないよう取り組みます。

なお、法令遵守など公正な職務執行を脅かす疑いがある場合は、調査、告発、再発防止などの措置をおこない、「鳥取県体育協会職員就業規則」に基づき対応します。

また福利厚生については、必要な社会保険に加入するとともに、仕事と生活の調和をはかるため、育児休業、各種休暇などのワーク・ライフ・バランスのサポートに関する制度を整備するよう取り組みます。

各種休暇の取得促進	有給休暇、介護休暇、育児休業などの取得を促進するとともに、時間外労働時間を削減するなど積極的に働き方改革を推進します。
職員の安全および健康の確保	労働安全衛生法に基づき、職員安全衛生管理規程を制定します。健康管理医を委嘱し、全職員を対象に年1回の健康診断を義務づけるなど、快適な職場環境を形成します。
各種相談窓口の設置	本会事務局に「セクハラ」「パワハラ」などのハラスメント相談窓口を設置し、適正に対応します。
職員勤務評定の実施	組織の活性化と職員のモチベーションを高めるため、職員の日常の実績および成果が客観的かつ公平・公正に評価できる制度を導入します。
定年後の継続雇用制度の導入	職員が安心して働きつづけることができるよう、定年後の継続雇用制度を設けます。
鳥取県公社・事業団など職員互助会への加入	職員やその家族を対象として、文化活動や健康作り、資格取得などを助成する制度に加入します。

イ 研修計画

研修計画については、利用者に質の高いサービスを提供し、安心して施設を利用していただくため、職場内研修や外部・集合研修なども含めた体系的な研修をおこない、職員の資質・能力の向上に取り組みます。

また、資格の取得や研修会を受講するにあたって、職員が参加しやすい体制が整えられるよう取り組みます。

(ア) 職場内研修

職場内研修については、職員の業務能力向上をはかるため、定期的を実施します。

障がいのある方に対応するための手話研修や利用者の命を守るための危機管理研修（消防訓練や防犯訓練）など、サービスの向上・安全な公園づくりをができるよう取り組みます。



県民体育館 消防訓練

(イ) 外部・集合研修

個人情報保護に関する研修など、本会事務局が開催する研修会のほか、体育施設管理士養成講習会や遊具の日常点検講習会などの外部研修にも積極的に参加し、幅広い分野の知識を習得します。

(ウ) 人権啓発研修(自己啓発研修)

人権啓発研修については、利用者の公平・公正な利用の確保と、職員個々の人権感覚の向上をはかるのことが必要のため、鳥取県が推奨する研修会・講習会に年2回以上参加できるよう取り組みます。



人権研修会

鳥取県が示す
人権尊重の基本理念

- 1 一人ひとりが自己決定権に基づいて個性と能力を発揮(自己実現)する公平な機会が保障された社会の構築
- 2 人権侵害、差別をもたらす社会的要因の解消と一人ひとりの人権尊重意識の高揚
- 3 すべての人の尊厳と社会参加が保障され、等しく社会の一員として尊重される社会の実現

(エ) 資格の取得、研修会の受講の推進

資格の取得、研修会の受講の推進については、布勢公園をより良く管理運営するのに必要であるため、本会が指定する資格や県の研修会などにおいて、職務を免除する制度を導入し、参加しやすい環境を整え、職員のレベルアップがはかれるよう取り組みます。

■鳥取県立布勢総合運動公園研修一覧

【全職員研修】

研修項目	内容
心肺蘇生法 (AEDの取扱い含)	<ul style="list-style-type: none"> ● 傷病者に対する心肺蘇生法および AED の操作方法、応急手当などの知識・技術の習得 ● シミュレーションによる対応力の向上
接遇研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者に対する窓口、電話対応などの基礎技術を習得 ● ロールプレイングによる対応力の向上
手話研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 聴覚障がい者への理解とコミュニケーションの向上をはかるため、手話の基礎技術を習得
人権研修	<ul style="list-style-type: none"> ● あいサポート企業として、あいサポート運動に積極的に取り組む ● あらゆるハラスメントに対する知識を習得
障がい者対応研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者スポーツの拠点施設として、あらゆる障がいをお持ちの方に対応するための知識・技術を習得 ● ユニバーサル視点での施設づくり
環境問題研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 循環型社会の構築能力を習得 ● 鳥取県版環境管理システム (TEAS) に関する知識の習得
消防訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 消火、通報、および避難誘導などを連携しておこなう、総合消防訓練 ● 消防設備の操作方法の習得
防犯訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設管理における防犯対策 ● 不審者発見などの緊急時における対応力の向上
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国瞬時警報システム (J アラート) を活用した対応行動訓練

【管理職研修】 ※園長・次長

研修項目	内容
法令遵守研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働関係法規の理解 ● 都市公園の管理運営に係る法令の理解
メンタルヘルス対策研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全配慮義務を理解し、業務によるストレスの排除、対処方法を習得する
リーダーシップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 組織(職員)の能力を最大限引き出すため、管理責任者として統率力や指導力を身に付ける
不当要求防止責任者研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 不当要求行為などに対して、防止責任者の意識および対応能力の向上をはかる
安全衛生推進者養成講習会	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働者の危険または健康障害を防止するための知識を習得

【体育指導者研修】

研修項目	内容
トレーニング指導員研修	● トレーニングルーム機器の使用法およびトレーニング指導に関する知識の習得
スポーツ指導員養成講習会	● 日本スポーツ協会公認スポーツ指導員の資格取得(各競技)
障がい者スポーツ指導員養成講習会	● 障がい者スポーツ協会公認初級・中級障がい者スポーツ指導員の資格取得
トレーニング指導士養成講習会	● 日本体育施設協会公認トレーニング指導士の資格取得

【経理・福利厚生担当者研修】

研修項目	内容
規程・規則に関する研修	● 財務関係規程などの体育協会規程の理解
会計事務別研修	● 鳥取県が開催する会計事務研修に参加し、適正な会計処理をおこなうための知識を習得する ● 鳥取県会計規則の理解

【初・中堅職員研修】 ※スタッフ・体育指導員・嘱託職員

研修項目	内容
基礎事務研修	● 料金の徴収、利用の許可などの基本的な事務の取り扱いについての研修
体育機器メンテナンス研修	● 体育機器のメンテナンスおよび設置方法の習得
個人情報保護に関する研修	● 個人情報保護規定の理解 ● 個人情報の取り扱いに関する知識の習得
規程・規則に関する研修	● 就業規則などの体育協会規程の理解
スポーツ救急手当講習	● 日本体育施設協会公認スポーツ救急手当プロバイダーの資格取得
体育施設管理士養成講習会	● 日本体育施設協会公認体育施設管理士の資格取得
ボイラー取扱技能講習会	● 日本ボイラー協会ボイラー取扱技能講習の受講 ● ボイラーに関する点検方法および知識の習得
遊具の日常点検講習会	● 日本公園施設業協会遊具の日常点検講習の受講 ● 遊具に関する点検方法および知識の習得
危険物取扱者保安講習会	● 危険物取扱者(乙4種)の資格取得 ● 危険物取り扱いに関する知識の習得
防火管理者講習会	● 甲種防火管理者講習の受講 ● 消防設備に関する点検方法および知識の習得

10 関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況及び対応状況

関係法令に係る監督行政機関からの指導などをふまえ、業務の改善に取り組みます。

関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況	対応状況
特になし	特になし

11 法人等の社会的責任の遂行状況

(1) 障がい者雇用

ア 常用労働者数 56 人以上の事業者であり、

法定雇用率を達成している。
(障がい者雇用状況報告書の写し添付)

法定雇用率を達成していない。

(2) 鳥取県男女共同参画推進企業の認定

鳥取県男女共同参画推進企業に認定されている。(認定書の写し添付)

鳥取県男女共同参画推進企業に認定されていない。

●現認定証の認定日
企業の名称 公益財団法人鳥取県体育協会
認定日 平成27年3月26日
(初回認定日 平成20年7月26日)
発効日 平成27年8月20日



鳥取県男女共同参画推進企業認定証

(3) ISO14001・鳥取県版環境管理システム審査登録制度(TEAS) I種又はII種規格認証等

ISO14001 又は TEAS I 種規格または II 種規格に基づく環境管理システムについて

認証登録されている。(登録証の写し添付)

認証登録されていない。

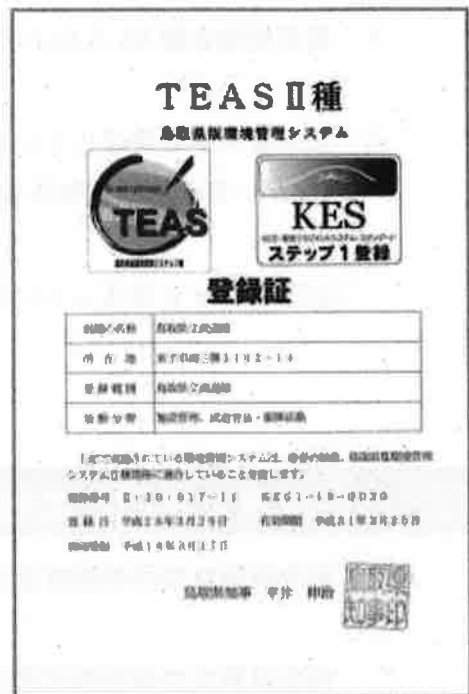
●現登録証の登録日

組織の名称 鳥取県立布勢総合運動公園

登録日 平成28年3月4日

(初回登録日 平成18年3月27日)

有効期限 平成31年3月26日



TEAS II種登録証

(4) あいサポート企業等の認定

あいサポート認定企業について

あいサポート企業などに認定されている
(登録証の写し添付)

●現認定証の認定日

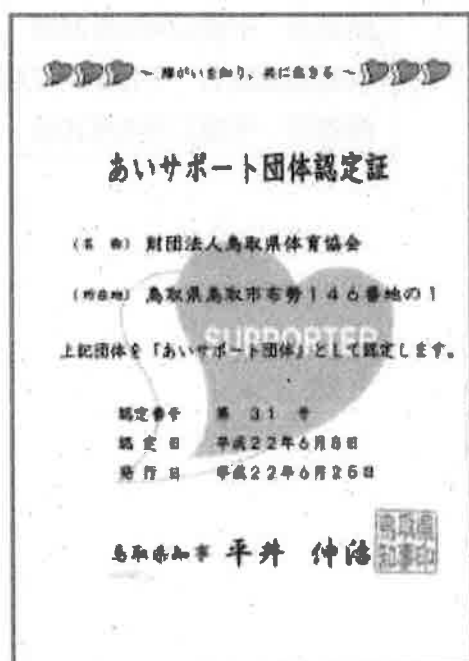
名称 財団法人鳥取県体育協会

(平成22年当時)

認定番号 第31号

認定日 平成22年6月8日

発行日 平成22年6月25日



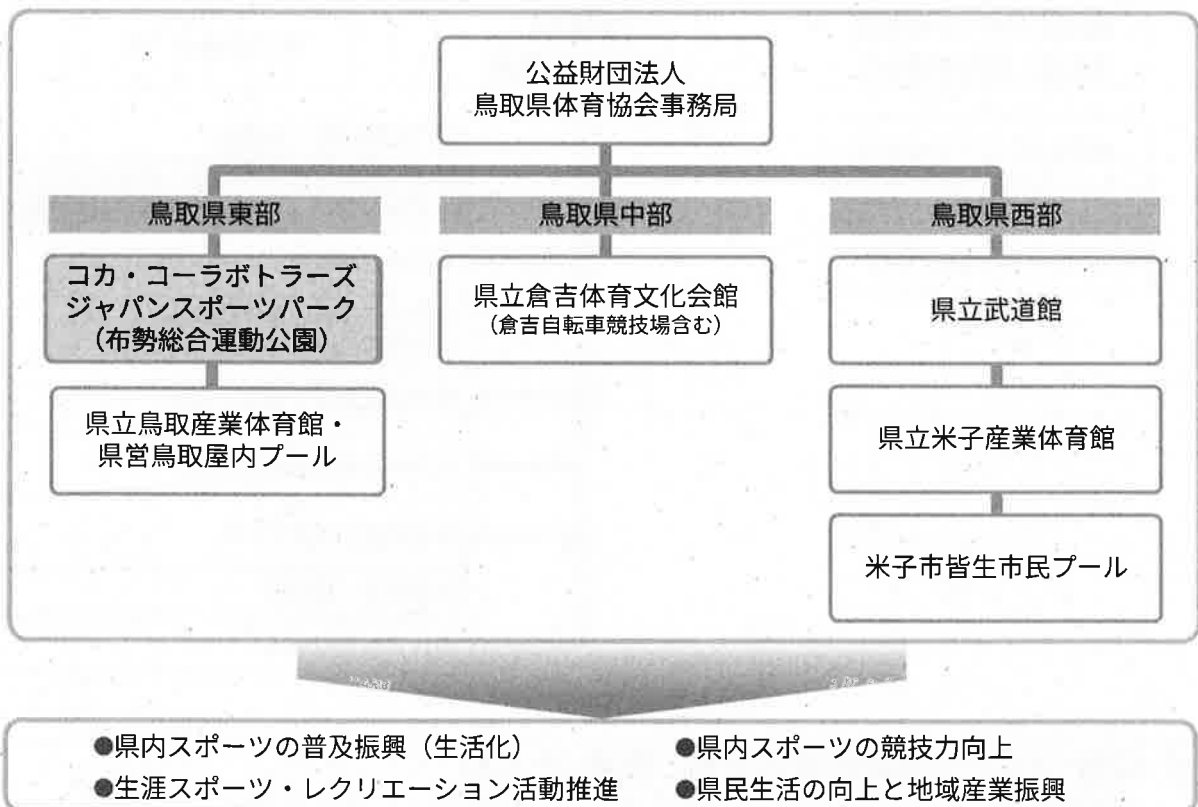
12 その他の計画等

(1) 管理業務の移行計画

組織運営体制は現行をベースとし、引き続き次期指定管理期間に管理業務を実施します。

(2) 他の施設管理の実績

本会は、長年にわたり鳥取県内のスポーツ施設を維持管理し、現在も布勢公園を含めた県内7施設の管理運営をおこなっています。次期指定管理期間にもこれらの施設と連携し、施設管理と一体となった本県のスポーツ振興に取り組みます。



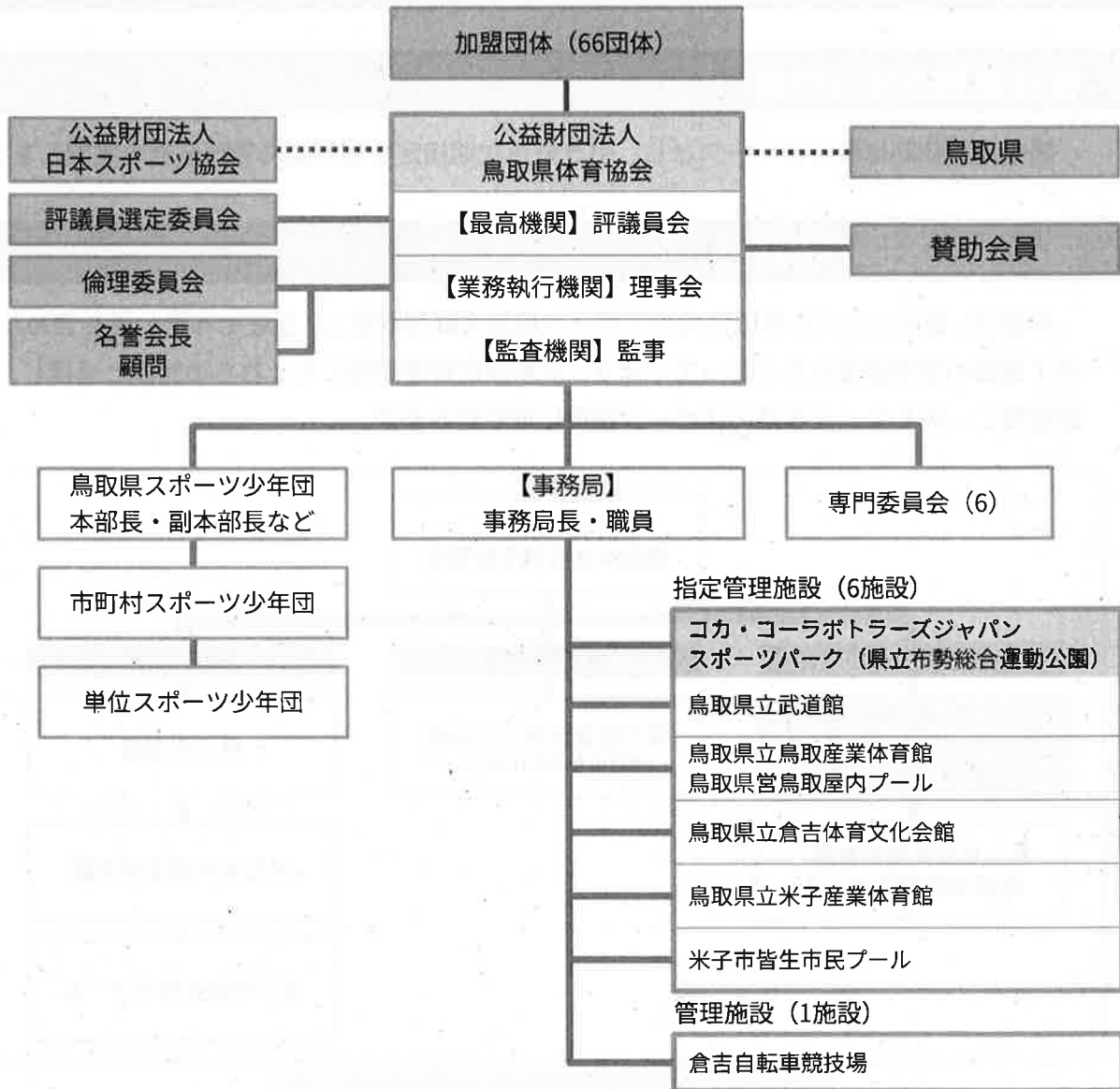
ア 本会の組織と基本方針

鳥取県におけるアマチュアスポーツの統括団体として、加盟団体（66 団体）はもとより、県内における体育・スポーツ関係機関・団体などとの連携のもとに、広く県民にスポーツの生活化を推進するとともに競技力向上につとめ、県民に夢と感動と活力をあたえるスポーツ活動の一層の推進をはかることを基本方針としています。



県庁議会棟別館内に所在する本会事務局

公益財団法人鳥取県体育協会組織図



イ 公園・スポーツ施設の管理運営に精通した人材

国民体育大会をはじめとした全国大会などで活躍するアスリートやさまざまなスポーツ指導をおこなうことができる人材を多数雇用しています。

全国でもこれほどの人材がそろっているスポーツ施設は珍しく、施設を実際に利用する競技者、指導者としての目線で、スポーツに精通した施設の管理運営を可能としています。

また、スポーツ指導資格にくわえて、公園管理運営士をはじめとした、公園管理に精通した有資格者がおり、より安全・安心なサービス提供を可能としています。

●体育協会職員保有資格など（抜粋）	
スポーツに関する資格	その他資格
(公財) 講道館柔道段位	(公財) 日本体育施設協会公認資格各種 上級体育施設管理士 他
(公財) 全日本弓道連盟公認段位	1級電気施工管理技士
(公財) 全日本剣道連盟公認段位	2級ファイナンシャルプランニング技能士
(公財) 全日本なぎなた連盟公認段位	FP (ファイナンシャルプランナー)
(公財) 全日本柔道連盟A級審判員	アーク溶接
(公財) 日本スケート連盟 公認テクニカルスペシャリストA級審判員	あいサポーター
(公財) 日本バドミントン協会3級公認審判員	あいサポートメッセンジャー
(公財) 日本レスリング協会公認B級審判員	ガス溶接
(公財) 日本レスリング協会レスリング段位	高等学校一種、二種免許状
(公財) 日本体操協会体操競技審判員資格2種	しゃんしゃん傘踊検定2級
(公財) 日本卓球協会公認レフェリー	スポーツ少年団認定員
(公社) 日本グラウンド・ゴルフ協会 普及指導員 (3級)	ビジネスマナー検定3級
(公社) 日本山岳協会公認ルートセッター	ビジネス文書実務2級速度部門
(公社) 全日本銃剣道連盟公認段位	プール衛生管理者
(一社) 日本スイミングクラブ協会 プール管理責任者	ペン字検定2級
(公社) 全日本銃剣道連盟A級審判員	ボイラー技士
(公財) スペシャルオリンピックス日本 コーチクリニック講習修了	ボイラー取扱技能講習者
(公財) 全日本相撲連盟公認段位	安全衛生推進者
(公財) 日本スポーツ協会公認資格各種	移動用クレーン運転
(公財) 全日本弓道連盟公認地方委員資格	医療事務技能審査2級メディカルクラーク
(公財) 全日本空手道連盟公認段位	英検2級 他
(公財) 全日本柔道連盟公認指導者A区分	応急手当指導員・普及員
(公財) 鳥取県体育協会 トレーナー	乙種第4類危険物取扱者
(公財) 日本サッカー協会 公認D級コーチライセンス	学校図書館司書教諭免許
(公財) 日本障がい者スポーツ協会 公認初級障がい者スポーツ指導員	玉掛け技能士
(公財) 日本障がい者スポーツ協会 公認中級障がい者スポーツ指導員	計算技術検定4級
(公財) 日本水泳連盟公認資格	建設業経理事務士検定3級
(公財) 日本卓球協会公認段位	公益法人会計検定 初級
(特) 日本ライフセービング協会認定資格	甲種防火管理者
ジョギング指導者	車両系建設機械運転
スポーツライミングC級審判員	珠算能力検定試験2級
ソフトバレーボール審判員資格	小学校教員免許
ターゲットバードゴルフ指導者	消防設備士
トランポリン普及指導員	税務3級
日本健康運動指導士	全国経理教育協会検定 各種
ノルディックウォーク公認指導者	全国商業高等学校協会主催 検定各種
パッドゲームスター指導者	第4級アマチュア無線技士
バドミントン審判員	中学校教諭一種、二種免許状
レクリエーションインストラクター	電気工事士
国際卓球連盟国際審判員	電気主任技術者2種
初級水中運動指導士	(一社) 日本公園施設業協会 遊具の日常点検講習会修了者
卓球バレー指導者	日本商工会議所簿記検定 各種
日本障がい者フライングディスク連盟 公認指導者 (2種)	日本赤十字社救急法救急員 他
民謡、フォークダンス4級	認知症サポーター
陸上競技公認審判員A級	不当要求防止責任者
	丙種危険物取扱者
	法務2級
	幼稚園教諭2種
	保育士
	緑の安全管理士

ウ 平成 29 年度の各管理施設の実績



コカ・コーラ ボトラーズジャパンスポーツパーク(布勢総合運動公園)

- 平成7年から平成17年まで県から受託管理
平成18年から現在まで指定管理者
- 職員数(嘱託・正職員) 22人
- 開催教室33教室 参加者25,071人
- 開催イベント40回 参加者17,278人
- 利用人数 1,098,968人



県立鳥取産業体育館・県営鳥取屋内プール

- 平成11年から平成17年まで県から受託管理
平成18年から現在まで指定管理者
- 職員数(嘱託・正職員) 13人
- 開催教室36教室 参加者13,496人
- 開催イベント11回 参加者14,249人
- 利用人数 169,581人



県立倉吉体育文化会館(倉吉自転車競技場)

- 平成11年から平成17年まで県から受託管理
平成18年から現在指定管理者
- 職員数(嘱託・正職員) 8人
- 開催教室20教室 参加者5,686人
- 開催イベント9回 参加者1,227人
- 利用人数 157,668人



県立米子産業体育館

- 平成21年から現在指定管理者
- 職員数(嘱託・正職員) 7人
- 開催教室22教室 参加者7,477人
- 開催イベント3回 参加者230人
- 利用人数 136,143人



県立武道館

- 平成12年から平成17年まで県から受託管理
平成18年から現在指定管理者
- 職員数(嘱託・正職員) 8人
- 開催教室29教室 参加者8,393人
- 開催イベント13回 参加者4,223人
- 利用人数 105,807人



米子市皆生市民プール

- 平成11年から平成17年まで県から受託管理
平成18年から現在指定管理者(平成27年11月から米子市へ移管)
- 職員数(嘱託・正職員) 9人
- 開催教室46教室 参加者17,803人
- 開催イベント5回 参加者576人
- 利用人数 86,361人

エ 本会加盟団体からの推薦状

これまでにこなってきた布勢公園の管理運営、相互支援などに対して、多数の本会加盟団体から、指定管理者としてふさわしいとの推薦状をいただいております。



加盟団体の推薦状(一部抜粋)

公益財団法人鳥取県体育協会所属団体(66 団体)一覧(順不同)

【競技団体】		
<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取県スキー連盟 ● (一財)鳥取陸上競技協会 ● 鳥取県テニス協会 ● 鳥取県バレーボール協会 ● 鳥取県レスリング協会 ● 鳥取県ハンドボール協会 ● 鳥取県卓球連盟 ● 鳥取県馬術連盟 ● 鳥取県ソフトボール協会 ● 鳥取県ライフル射撃協会 ● 鳥取県山岳・スポーツクライミング協会 ● 鳥取県空手道連盟 ● 鳥取県なぎなた連盟 ● 鳥取県グラウンド・ゴルフ協会 ● 鳥取県スポーツチャンバラ協会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取県スケート連盟 ● (一財)鳥取県水泳連盟 ● 鳥取県ボート協会 ● 鳥取県体操協会 ● 鳥取県セーリング連盟 ● 鳥取県自転車競技連盟 ● 鳥取県軟式野球連盟 ● 鳥取県フェンシング協会 ● 鳥取県バドミントン協会 ● 鳥取県剣道連盟 ● 鳥取県カヌー協会 ● 鳥取県銃剣道連盟 ● 鳥取県綱引連盟 ● 鳥取県トライアスロン協会 ● 鳥取県バウンドテニス協会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取県アイスホッケー連盟 ● (一財)鳥取県サッカー協会 ● 鳥取県ホッケー協会 ● (一社)鳥取県バスケットボール協会 ● 鳥取県ウエイトリフティング協会 ● 鳥取県ソフトテニス連盟 ● 鳥取県相撲連盟 ● 鳥取県柔道連盟 ● 鳥取県弓道連盟 ● 鳥取県ラグビーフットボール協会 ● 鳥取県アーチェリー協会 ● 鳥取県クレール射撃協会 ● 鳥取県ゲートボール協会 ● 鳥取県エアロビック連盟 ● 鳥取県ペタンク協会
【学校体育団体】		
<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取県高等学校体育連盟 ● 鳥取大学体育連合会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取県中学校体育連盟 ● 鳥取短期大学体育連合会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取県小学校体育連盟 ● 鳥取県高等学校野球連盟
【郡市体育協会】		
<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取市体育協会 ● 岩美町体育会 ● 西伯郡体育協会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 倉吉市体育協会 ● 八頭郡体育会 ● 日野郡体育協会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 境港市体育協会 ● 東伯郡体育協会
【その他の団体】		
<ul style="list-style-type: none"> ● (一社)鳥取県障がい者スポーツ協会 		

(3) 社会貢献活動

本会は、「体協組織として社会貢献すること」を理念のひとつとして、以下のような地域振興、支援活動をおこないます。

ア 地域との連携

(ア) 地域活性化への貢献

委託業務や修繕、消耗品の購入などについては、県内事業者への発注につとめ、鳥取県の経済活性化への貢献に取り組みます。

また、新しく職員の雇用が必要となった場合は、鳥取県出身者を積極的に採用し、地域に根差した管理運営に取り組みます。

平成29年度 物品調達 県内企業一覧(敬称略、順不同)

業者名	主な調達物品	業者名	主な調達物品
	水栓、電池		おやつセット(イベント参加賞)
	事務用品		給湯用電器温水器部品
	ゴム印		点検口蓋
	食事券(イベント景品)		石灰
	輪転機インク		豆腐・油揚げ(イベント参加賞)
	フルーツ(イベント景品)		お菓子(イベント参加賞)
	公用車ガソリン		ちくわセット(イベント参加賞)
	危険物標識		白もちセット、(イベント参加賞)
	食事券(イベント景品)		まんじゅう(イベント参加賞)
	蛍光管、LEDなど		公用車バッテリー
	トレーニング用部品		お菓子詰合せ(イベント参加賞)
	卵(イベント参加賞)		雷サージプロテクタ
	花壇用花、肥料		合鍵
	スポーツ用品		新聞
	イベントなどの弁当		車止め取付ビス
	ゴミ袋など		OA機器など
	花		卵(イベント景品)
	パンフレットなどの制作		衛生用品、AED電極パッド
	ボイラー用の重油		封筒、施設および設備利用券

(イ) 職場体験・インターンシップの受け入れ

県内の中・高生の職場体験および大学生のインターンシップの受け入れについては、積極的に協力していきます。

○職場体験学習およびインターンシップ受入学校実績

区分	学校名
中学校	湖東中学校、高草中学校、湖南中学校
高校	岩美高校、湖陵高校
特別支援学校	白兔養護学校
大学	鳥取大学、鹿屋体育大学 明治大学、鳥取短期大学

(ウ) 地元大学との連携

地元大学との連携については、鳥取大学や鳥取環境大学のそれぞれの専門分野をいかしたイベントの実施やスポーツ教室などの講師を務めてもらえるよう協力依頼します。

学校名	実施内容
鳥取大学	地域学部と連携し、地域活性化に関するイベントの実施
鳥取環境大学	環境プログラムの実施
鳥取大学・鳥取環境大学	スポーツ教室・イベント講師

イ 障がい者就労施設およびシルバー人材センターへの支援

障がい者就労施設およびシルバー人材センターへの支援については、イベント参加賞などの物品調達を積極的におこない、障がい者や高齢者の就労機会の確保に取り組みます。

○物品購入実績

施設名	調達物品名	26年度	27年度	28年度	29年度
株式会社プレマスペース	ミックスラスク			367個 73,400円	352個 119,680円
福祉作業所たんぼぼ	かりんとう			330個 4,752円	290個 95,700円
特定非営利活動法人 一歩の会あゆみ工房	なしジャムなど		410個 123,000円	320個 83,840円	
社会福祉法人愛光会	クッキー	272個 81,600円	170個 55,080円	217個 65,100円	
就労支援センター和貴の郷	なた豆茶 クッキーセット	366個 109,800円			

ウ ボランティア団体との連携

(ア) ボランティアによる事業協力

地元の老人会や企業、学校などと連携して、公園内の花壇や緑地の修景管理、園内の清掃活動、イベントなどの運営のサポートなど、参加される方と地域に密着する公園づくりを継続しておこなっていただけるよう取り組みます。

○主なボランティア実績

地元老人会による清掃活動	商工会議所による桜の植樹
スポーツ教室参加生徒による清掃活動	ボランティア部(高校生)によるイベント補助
地元企業による外灯清掃・イベント協力	



教室の参加者による園内美化活動



イベントの一環として高所作業車から園内を一望

(イ) ボランティア活動への積極的参加

鳥取砂丘景観保全再生事業の一環としておこなわれる、砂丘内除草作業に毎年ボランティアとして参加するなど、職員がボランティア活動に積極的に参加します。



鳥取砂丘の除草作業



近隣の側溝清掃活動

エ 被災地への支援

2016年の熊本地震発生時には、指定管理施設職員から義援金を募り、(公財)日本体育協会(現日本スポーツ協会)をつうじて被災地への支援をおこないました。

熊本地震災害日本体育協会義援金

鳥取県立布勢総合運動公園	35,000円
鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取屋内プール	5,000円
鳥取県立倉吉体育文化会館	15,931円
鳥取県立武道館	10,000円
鳥取県立米子産業体育館	5,000円
米子市皆生市民プール	13,000円
義援金総額	83,931円

(4) 国際貢献事業

日本国政府が推進する、スポーツを通じた国際貢献事業であるスポーツフォートゥモローなどのスポーツをつうじた国際貢献事業を積極的に推進していきます。

現在までに、本会では大韓民国江原道体育会と締結したスポーツ交流協定書に基づきスポーツ交流試合をおこない、日韓両国の友好親善とスポーツの振興をはかっています。

さらに、海外のスポーツ少年団同時交流事業、スポーツ少年団指導者交流事業の受け入れなどもおこなっています。

(5) 園内の禁煙・分煙について

鳥取県の禁煙施設認定制度に禁煙施設として認定されており、園内は原則禁煙とし、屋外の人通りの少ない場所に喫煙所を数か所設置します。



(6) スポーツ安全保険の提供

本会が取り扱うスポーツ安全保険を提供します。地域で活動するスポーツ少年団や社会人クラブの方々に、手頃で補償内容の充実したスポーツ安全保険を提供します。

(掛金は平成30年4月現在) (スポーツ教室加入区分例)

加入対象者	補償対象となる団体活動等	加入区分	年間掛金 (1人あたり)
子ども 中学生以下 (特別支援学校高等 部の生徒を含む)	スポーツ活動	A1	800円
大人(高校生以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円

(7) 職員駐車場の使用料

指定管理者の職員および業務の再委託を受けた職員が、通勤のために施設内駐車場を使用する場合は、あらかじめ指定管理者が県から都市公園法第5条の設置管理許可を受け、その使用料を県に納入します。